

第三者評価の受審実績	平成 24 年度		
取材の対象年度	平成 24 年度	評価手法	標準の第三者評価

## 【取材メモ】

### 取材の視点



- ・第三者評価受審の目的、経緯
- ・事業評価(自己評価)のプロセスで得られた気づき
- ・利用者調査、職員の自己評価及び評価機関による評価の結果から得られた気づき
- ・改善に向けた取り組みとその成果、など

## ■事業所の特色

当園は“都心の樹林帯”と呼ばれる都立林試の森公園に近い静かな住宅街の中にあります。免震構造鉄筋コンクリート造のモダンな園舎は、周囲の街並みに溶け込んでいます。

昭和 43 年、地域の父母が中心となり、当時はまだ制度化されていなかった産休明け保育の切実なニーズに応えるために設立された無認可共同保育所を前身としています。地域になくてはならない保育園として長い間、働く父母を支え続け、専門性をもって子どもの健全な育ちをサポートしてきました。平成 24 年に法人格を取得し、東京都の認証保育所として新たなスタートを切りました。

生後 43 日～3 歳未満の子ども 25 人（現在は弾力化により 29 人が在籍）に対し、一日最大 13 時間（日曜・祝日と年末年始の 6 日間は休園）の保育を行っています。

職員体制では、常勤の保育士を基準より 3 名多く配置して子どもの安全に配慮するとともに、常勤の管理栄養士を置いて、子どもの発達段階に応じたきめ細かい食事の提供に努めています。和食を中心に、なるべく低農薬、無添加、国産の食材を使うよう心がけているとのこと。第三者評価の中で評価機関が実施した利用者調査（保護者アンケート）では、食事の項目で、回答者の全員が満足しているという結果が示されました。

また、職員が安心して働き続けられるような条件や環境の整備に取り組み、高い定着率を実現しています。保育士経験の長い職員が多いことは当園の強みの一つになっています。



【春の行事食】